**職務経歴書**

2025年4月1日現在

佐藤 真由美

**■職務要約**

　調剤薬局で通算7年間勤務し、1社目では2店舗を異動しながら内科・小児科・皮膚科などの処方に対応。2店舗目では店舗運営補佐も経験しました。2社目では医療モール型薬局にて多科目・在宅対応を含む幅広い実務を担当。患者様の生活背景や疾患特性に配慮した説明を心がけ、服薬アドヒアランスの向上に努めてきました。業務効率改善や新人教育など、現場づくりにも積極的に取り組んでいます。

**■職務経歴**

株式会社グリーン薬局（在籍期間：2016年4月～2020年3月）

業種：調剤薬局チェーン／従業員数：約300名／雇用形態：正社員

|  |  |
| --- | --- |
| 期間 | 職務内容 |
| 2016年4月〜2018年3月 | 【配属】 本町店（内科・小児科中心／1日約90枚） 【担当業務】 調剤、監査、服薬指導、小児服薬工夫、ジェネリック切替対応 【心がけたこと】 親しみやすい接遇で、家庭での服薬支援も意識 【実績】 「話しやすい薬剤師」として複数名に指名され、社内表彰。 |
| 2018年4月〜2020年3月 | 【配属】 東口店（皮膚科・婦人科／1日約120枚） 【担当業務】 軟膏調整、後輩指導、業務マニュアル作成 【心がけたこと】 使用部位や頻度を具体的に説明する指導を徹底 【実績】 記録入力業務の時短マニュアルを作成し、20％の効率化を実現。 |

株式会社さくらメディカル（在籍期間：2020年4月～現在）

業種：調剤薬局（地域密着型）／従業員数：約150名／雇用形態：正社員

|  |  |
| --- | --- |
| 期間 | 職務内容 |
| 2020年4月〜現在 | 【店舗形態】 医療モール型＋在宅／1日平均130枚 【担当業務】 多科目調剤、居宅・施設在宅対応、服薬支援、新人教育 【心がけたこと】 生活に即した服薬提案と、医療連携の円滑化を意識 【実績】 訪問患者15名のうち80％で服薬遵守改善、医師から高評価を獲得。 |

**■活かせる経験・スキル**

・調剤薬局での多店舗勤務・異動対応経験（4年間）  
・皮膚科・婦人科・小児科を含む科目ごとの説明工夫  
・在宅訪問（居宅・施設）での服薬支援と医師連携  
・薬剤師国家資格（2016年取得）／研修認定薬剤師（2021年取得）

**■自己PR**

**・現場改善に取り組む推進力**  
　異動先の薬局では、業務フローが属人的で記録入力のミスや時間超過が起きていました。そこで既存の作業内容を洗い出し、薬歴入力の手順を簡略化したマニュアルを作成。新人でも対応できるよう共通フォーマットを整備した結果、店舗全体の入力時間を平均20％短縮できました。  
　このように現場の課題に気づき、改善を提案・実行する姿勢は、どの職場でも高く評価されています。

**・患者の立場に立った服薬支援力**  
　在宅訪問では、ご高齢の患者様が複数の薬を飲み忘れたり間違えたりするケースが多く見受けられました。そこで患者の理解度や生活パターンに応じて、ピクトグラム付きの服薬カレンダーや、服薬セットの工夫を提案。ある患者様は服薬遵守率が向上し、医師からも「説明が伝わっている」と好評でした。  
　患者に寄り添う説明力・提案力を活かして、今後も信頼される薬剤師を目指します。

参考

薬剤師の職務経歴書で意識したい5つのポイント

**① 処方科目と対応枚数を明記する**

1日あたりの処方箋枚数や科目構成を書くことで、業務負荷や専門性が伝わります。

【例】「内科・皮膚科中心、処方箋枚数：1日平均120枚」

**② 異動・在宅など多様な経験は分けて書く**

同じ会社でも異動経験がある場合は、店舗ごとに職務内容を明記すると幅が伝わります。

【例】「本町店（小児科）→東口店（皮膚科）」

**③ 心がけたことを入れて人柄を見せる**

「わかりやすい説明」「患者の生活に合わせた提案」など、工夫が伝わる内容を加えましょう。

【例】「使用方法を図解し、理解度を高める工夫を実施」

**④ 具体的な成果・評価があると強い**

医師や患者、職場からの声や業務改善実績など、数字や事実に基づく成果を記載すると説得力が増します。

【例】「服薬遵守率が80％に改善」「残薬調整で処方変更が実現」

**⑤ 研修・資格は応募先に関係あるものだけ記載**

必要以上に資格を列挙するのではなく、研修認定薬剤師など応募職種に合った資格を明記しましょう。

【例】「研修認定薬剤師（2021年取得）」